

## RQ-4グローバルホーク 横田に再来 *'Here they come again:' RQ-4 Global Hawks arrive at Yokota Air Base*

June 1, 2021

374th Airlift Wing Public Affairs

米太平洋空軍は5月22日、グアムのアンダーセン空軍基地第319作戦群第4偵察飛行隊のRQ-4グローバルホーク数機を横田基地に一時展開した。

グローバルホークの任務は、世界規模の平時、有事、危機対応において、統合軍、同盟国、そしてパートナーを支援するため、幅広い米国の情報、監視、偵察収集を行うことである。

横田基地の気象は、グアムの台風シーズンの間、グローバルホークが運用を行うのにより適している。



グローバルホークは、高高度・長距離長時間・遠隔操縦・非武装の空中偵察システムとして運用される。同機は、内蔵センサーとカメラを搭載し、昼夜を問わず、広大な地域を高解像度で全天候に対応した画像を継続的に提供する。

同部隊の空兵は、日本政府と国防総省が実施している全てのCOVID-19非医薬品介入の対策を遵守する。

グローバルホークは、2011年3月11日に本州北東部沿岸で発生したマグニチュード9.0の地震による津波で福島第一原子力発電所が浸水した際、米国防総省が24,000人の兵士を動員して日本の災害救助活動を行った「トモダチ作戦」の人的支援および災害救助活動も支援している。